



しょき

ぜんくしろだより



全釧路教職員組合・書記古川和美 2017・1・31 NO13



全釧路教職員組合の皆

さん、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

子どもたちと地域に寄り添い、教育への深い想いを共有する皆さんに心から敬意を表します。

アベ政治は今多くの国民の切実な願ひに対して真摯に向き合っているとはとうてい言い難い現実があります。アメリカの離脱で成立する見込みのないTPP承認、ギャンブル依存症患者を増やすカジノ解禁法の採決、年金の切り下げなどの社会保障の改悪、オール沖縄で反対する辺野古、高江の基地問題への暴力的対応、戦争法の強行採決とその具体化としての南スーダンへの陸上自衛隊の派遣（駆けつけ警護の新任務を付与）、国会運営における強行採決の連発など、憲法の根幹を破壊する歴史的暴挙に枚挙にいとまがありません。国民の広範な怒りが沸々と起こっている現実があります。

学校現場でも、憲法改悪と一体に進められるアベ「教育再生」によって、「戦争する国」と「グローバル競争社会」のための人材育成が進められようとしています。従順で扱いやすい子どもを育てる一方で、教員に対しても、新評価制度をはじめとして、管理と横並びの同調圧力が一層強まっています。アベ「教育再生」は、まさに「アベノミクス」「戦争する国づくり」を完遂するための教育に他ならないのです。

戦後日本の再出発の基礎となった日本国憲法は国民の多数意見でも奪ってはいけない価値、つまり法律によっても奪えない価値をあらかじめ定めてあります。私たち全釧路教職員組合も、多くの仲間と力を合わせ、国家権力を制限し、多数決によっても奪えない国民の権利（人権）を保障するために、憲法にもとづく政治（立憲主義）を取り戻すたたかいをさらに強めていきたいと決意を新たにしているところです。

そして、教育現場でも、子どもを主人公に、地域・保護者が共同する学校づくり、どの子にもゆきとどいた教育を保障する条件整備の運動を進め、数多くの課題に力を合わせて立ち向かわなければなりません。

想いを同じくする、すべての仲間の皆さんに心からの連帯と、共に奮闘する決意をお伝えし、新年のご挨拶といたします。



2017年 1月

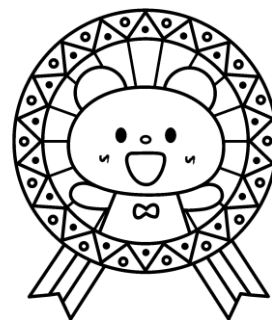
全釧路教職員組合
委員長 古川 晃男

会館がきれいになりました。



長い間話し合いをすすめ、ようやく外壁の修繕が終わりました。

遊びにいらしてくださいね。



第 14 回全釧路教職員組合定期大会

期日： 2017年2月19日（日）9時～

場所： 星が浦教育会館 会議室

TEL 0154-51-0476

FAX 0154-51-1667

組合の活動を総括し、あたらしい運動方針を確立する大切な大会です。大変お忙しい中だと思いますが、たくさんの組合員の皆さんの出席をおねがいたします。

